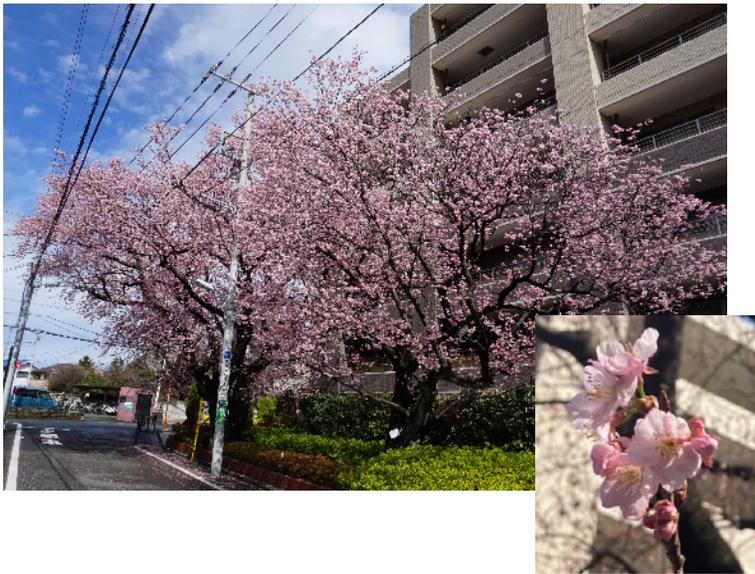


# 「ハリウッドの桜 救援プロジェクト」 設立のお知らせ

ライオンズガーデン調布ヶ丘には、毎年、市報や市ホームページに満開の花が掲載され、調布市の早咲き桜として知られる「ハリウッドの大寒桜」2本があります。これらは神代植物公園さくら園のオオカンザクラよりも大きく、並びのソメイヨシノ3本とともに、5本すべてが調布市指定保存樹木に指定されています。

開花期には市外からわざわざ見に来る方もいるように、マンション住人のみならず、近隣地域にとって春の訪れを華やかに知らせる貴重な樹木群といえるでしょう。



## 【大寒桜とは】

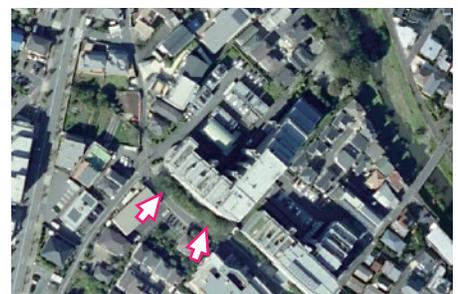
- ・カンザクラの園芸品種でカンヒザクラとオオシマザクラ（あるいはヤマザクラ）の交雑種と考えられます。埼玉県川口市安行にあった原木から各地に広まりました。
- ・オオカンザクラの開花時期は3月下旬で、カンザクラよりも1ヶ月ほど遅く、ソメイヨシノよりも一週間ほど早い。
- ・花は直径2.5～3.5センチで一重の五弁。やや下向きにつき、完全に開かないのが特徴。
- ・寒桜よりも花がやや大きいことからオオカンザクラと名付けられました。
- ・日当たりと水はけのよい肥沃な場所を好む。



【1950年頃】 まだこの辺りは田畑が広がっていました

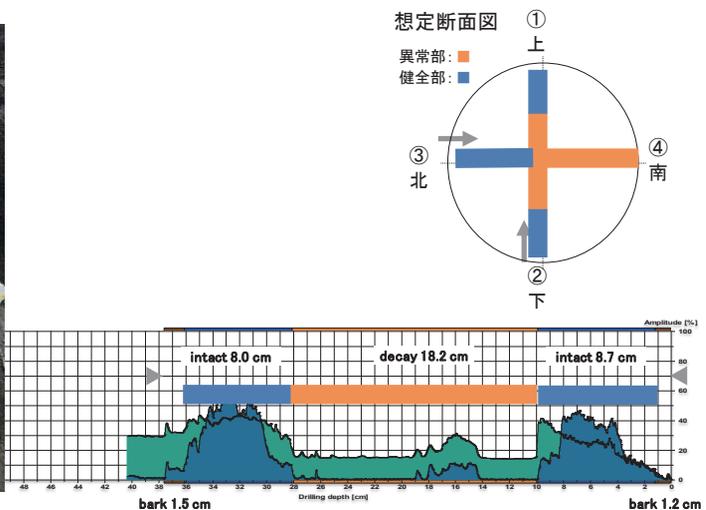


【1979年頃】 ハリウッド化粧品の工場に大寒桜とソメイヨシノが植えられています



【現状】 大寒桜もソメイヨシノも樹冠が大きくなっています

2021年11月に、管理組合がこの大寒桜の剪定を実施したところ、樹勢が弱っている疑いがありましたので、2022年3月に日本樹木医会東京支部の「チーム未来樹」に診断をお願いしました。



診断の過程で、2014年と2021年の剪定で大枝を切る大手術のあとに切り口を放置していたことで一気に樹勢が弱くなったこと、残った枝が強くなじられて裂けめができていたことなど、が判明しました。

また2001年マンション竣工時に、もともとの根の上に1m以上の盛り土がおこなわれて根に空気が行きわたらなくなって20年かけて樹勢が弱ってきたらしい、ということも分かりました。



腐って裂けた樹皮



【2001年】道路面と高さを合わせるための盛り土工事

5月には、満開の桜を咲かせてくれた大寒桜の治療として、弱った大枝を手当するとともに、盛り土に穴を開け、新しい根を誘導する土壌改良資材を詰める施策を実施しました。  
土壌改良は今後も継続する必要があります。



支柱を設置し、樹皮を保護して、根の成長を促しました。  
2～3年後に再処理します。



土壌改良 坪穴（空気穴）掘削中  
土壌改良剤で埋め戻しました。

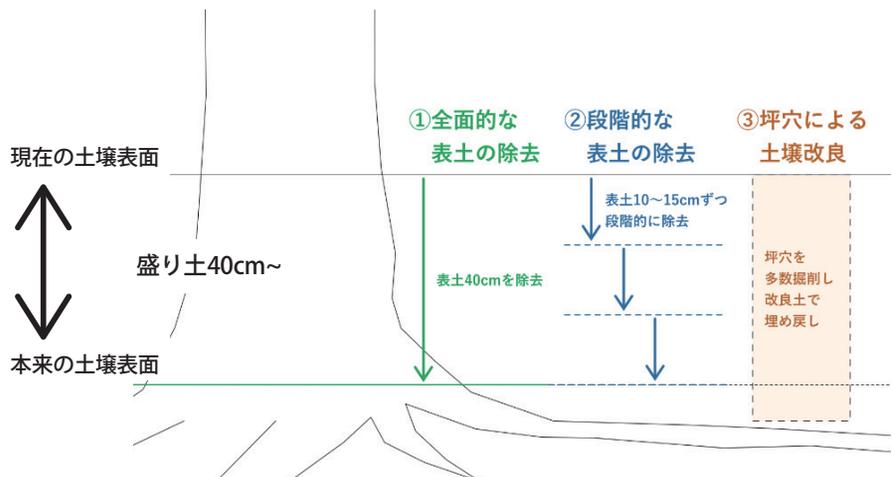
### 土壌改良の方法はこれから検討して行きます。

その中の一つ、坪穴案。

現状の低木、盛り土された土壌の高さはそのまま、スポット的に元の土壌がある深さまで穴を掘り、その坪穴に土壌改良資材を入れて埋め戻す方法です。坪穴を一定の間隔で植栽地内に多く掘ることで、全体的に通気性や肥料分などを今よりも良い状態にします。現在の植栽の状態をできるだけ維持し、実施する範囲を分けて少しずつ10年程度行っていくことで、樹勢回復への高い効果が見込める可能性があります。



現在見える表土は深植えされた土



桜の寿命は60年という説が流布されておりますが、これは、最近になって倒木や落枝の危険があるために、伐採される木が増えたからです。

桜を剪定する際には、切り口から腐朽菌が入り込んで枝を枯らすことのないように手当をします。大枝を切らなくて済むように、冬の手当も必要です。

やるべき世話をして、やってはならないことをやらなければ、ずっと美しい桜を見ることができるようそうです。学ばないこと、知らないことが桜を枯らしていくならば、学んで行動に移せば、桜が枯れて朽ちていくのを食い止め、美しい桜の光景をずっと見ることができるようです。



私たちの大寒桜が、いつまでも元気で、地域のシンボルとして花を咲かせていってくれるように、「ハリウッドの桜 救援プロジェクト」を立ち上げました。プロジェクトでは「チーム未来樹」の先生方を招いて、桜について学ぶ会も企画したいと考えています。

美しい桜を見るために、桜のために何ができるのか、必要なのか。みなさまのご協力が必要です。どうか一緒に桜を保護する活動に加わってください。



# 資料 1 2022 年 3 月の診断

樹木医「チーム未来樹」

対象木	A：オオカンザクラ	B：オオカンザクラ	C：ソメイヨシノ	D：ソメイヨシノ	E：ソメイヨシノ	
分類	バラ科サクラ属	バラ科サクラ属	バラ科サクラ属	バラ科サクラ属	バラ科サクラ属	
学名	<i>Cerasus x kanzakura 'Oh-kanzakura'</i>	<i>Cerasus x kanzakura 'Oh-kanzakura'</i>	<i>Cerasus x yedoensis 'Somei-yoshino'</i>	<i>Cerasus x yedoensis 'Somei-yoshino'</i>	<i>Cerasus x yedoensis 'Somei-yoshino'</i>	
形状 寸法	樹高	12.5m	8.0m	12.5m	13.0m	12.5m
	幹周	北220cm、南208cm	226cm	214cm	北127cm、南190cm	180cm
	根元周	324cm	237cm	247cm	265cm	212cm
	枝張	北西-南東16m 北東-南西9.5m	北西-南東8m 北東-南西9m	北西-南東13m 北東-南西10.5m	北西-南東13m 北東-南西12m	北西-南東9m 北東-南西9.5m
全景 写真						
根元 写真						

対象木	A：オオカンザクラ	B：オオカンザクラ	C：ソメイヨシノ	D：ソメイヨシノ	E：ソメイヨシノ
樹勢	樹勢は比較的良好な状態。伸長量は多くなく成長は緩やかな状態にあると考えられる。下枝や樹冠内に枯枝が散見される程度で、大きな異常は見られない。	樹勢はあまり良くない状態で、衰退傾向が強く、大枝先端に梢端枯れが見られる。胴吹きが伸長したと思われる枝に梢端枯れは少なく、比較的良好な状態。	枯枝が多く、北側に分布する大枝は衰退傾向にある。頂部や大枝の途中から伸びる枝は比較的良好、北側大枝の梢端は節間が詰まり、伸長量は少ない。	樹勢は通常程度。車道側頂部の枝はやや薄い。根元付近で2本に分かれた幹から伸びる胴吹き枝は旺盛なものと衰退傾向のものが見られる。	樹勢は通常程度。車道側頂部の枝は薄く、建物側に枝数が多い。Dソメイヨシノの反対側が日照条件が良いためか、枝数が多く芽も多い。
樹形	枝が波打つように北西から南東に広がり、樹高もある見事な樹形。幹から2本に分岐した大枝から各方向へ伸びる枝に分かれる。東の建物側、西の車道側はやや枝数が少ない。	他の対象木に比べて樹高が低く、幹は南東側に傾いており、枝も南東方向に伸び、大枝の途中から伸びる枝が頂部を構成している。	主幹がそのまま頂部まで伸びる大枝と、北西側に伸びる大枝で構成され、南東側の枝は少なく、やや北西に偏った樹形。広範囲に腐朽する大枝やかかり枝等、落枝の恐れがある。	根元付近で2本に分岐し、南西の車道側、東の建物側に伸び、下枝は少なく、各幹の頂部は離れている。根元はやや肥大しており、入皮状に分岐。	C～Eで構成する樹冠の端にあり、南東側に傾斜(E-1)、下枝は少なく、頂部に枝葉が集中した偏った樹形をしている。
樹皮欠損、腐朽、空洞等	大枝に溝状の枝欠損痕腐朽(A-1)、大枝に枝欠損痕多数(A-2～4)	根元から幹に樹皮枯死(B-1)、大枝分岐部に腐朽(B-2)、東側大枝に樹皮欠損痕腐朽(B-3)、B-1～3は繋がっている可能性があり、広範囲の被害	東側大枝に捻じれた樹皮欠損痕腐朽、折損の恐れあり(C-1)、枝欠損痕腐朽多数	根元南東側に腐朽(D-1)、幹南東側に大枝欠損痕腐朽(D-2)、枝欠損痕腐朽多数(D-3)	幹西側に樹皮枯死(E-2)、幹東側に大枝切除痕腐朽(E-3)、枝欠損痕多数(E-4)
枯枝危険枝	細かい枯枝が散見される程度 南側の枝が線飲み込み(A-5)	東側大枝に広い樹皮欠損痕腐朽(腐朽診断実施、後述) 梢端に枯枝多数(B-4)	東側大枝が腐朽部で捻じれて別な大枝に接触し危険な状態(C-2)、かかり枝、枯枝(C-3)	枯枝(スタブカット)(D-4)	細かい枯枝が散見される程度
打診音異常	異常なし	打診音異常あり 根元から幹のGL0～1.5mと、腐朽が著しい東側大枝	異常なし	打診音異常あり 根元から幹のGL0～0.6m	打診音異常あり 根元から幹のGL0.5-1.8m
根元の異常	深植え(盛土) 根元周囲に不織布(A-6)	深植え(盛土) 肥大(B-5)	深植え(盛土) 入皮(C-4)	鋼棒貫入異常(南東側腐朽部) 深植え(盛土)、肥大、巻き根入皮(D-5)	深植え(盛土) 巻き根、根頭がんしゅ病と思われる異常部(E-5)
キノコ病虫害	根元入皮部に子嚢菌実体(A-7)	幹南東側にコフキタケ子実体(B-5)、大枝分岐部入皮に背着生子実体(B-6)	北西側の枝にがんしゅ病(増生症状、C-5-6)が相当数見られ、枝も衰退傾向	幹にこぶ(D-6)、枝にがんしゅ病(増生症状)	根元と幹にがんしゅ病と思われる異常部(E-6)、枝にがんしゅ病(増生症状)

# 資料 2 2022年3月の診断結果と処置の提案

樹木医「チーム未来樹」

樹木診断結果一覧 対象木オオカンザクラ 2本、ソメイヨシノ 3本 赤字は特に処置を要する項目

診断項目	A：オオカンザクラ	B：オオカンザクラ	C：ソメイヨシノ	D：ソメイヨシノ	E：ソメイヨシノ	
外観診断	樹勢・樹形の評価	・樹勢は比較的良好 ・樹形は樹高、枝張りとも貴重であり見事な大きさ	・樹勢は衰退傾向 ・骨格の大枝が減少してきていると考えられ、樹形崩壊傾向にある	・樹勢はがんじゅの多い北側大枝で衰退傾向 ・北西に偏った樹形 ・樹高が大きく管理が困難	・樹勢は通常程度 ・根元から2本の幹に分岐、南西と東で離れて頂部が広がる樹形 ・樹高が大きく管理が困難	・樹勢は通常程度 ・南東側に傾斜、頂部に枝葉が集中するやや不安定な樹形 ・樹高が大きく管理が困難
	注意の必要な被害	・大枝に溝状の枝欠損痕腐朽 ・車道上部の枝が線飲み込み ・根元に子囊菌子実体 ・深植え(下記土壌調査参照)	・根元から幹に樹皮枯死、東側大枝に広範囲の樹皮欠損腐朽 ・コフキタケ等子実体の発生 ・梢端に細かい枯枝 ・深植え(下記土壌調査参照)	・腐朽して捻じれた東側大枝が折損、落枝する危険あり ・枯枝多数、高所にかかり枝 ・多数の枝に増生病 ・深植え(下記土壌調査参照)	・根元、幹に腐朽 ・打診音異常あり、内部腐朽の可能性 ・枝に増生病 ・深植え(下記土壌調査参照)	・幹に樹皮枯死、腐朽 ・打診音異常あり、内部腐朽の可能性 ・枝に増生病 ・深植え(下記土壌調査参照)
腐朽診断 (Bのみ実施)	未実施 今後の状況に応じて実施推奨	根元にはコフキタケによる若干の内部腐朽、東側大枝は腐朽が広範囲で折損の恐れあり	未実施 今後の状況に応じて実施推奨	未実施 根元付近に腐朽の可能性があり今後実施推奨	未実施 根元付近に腐朽の可能性があり今後実施推奨	
土壌調査	pH EC 成分	・pH 5.85~6.04 基準値内 ・EC 0.11~0.17 基準値内 ・窒素不足	・pH 6.99~7.29 基準値越え ・EC 0.18~0.19 基準値内 ・窒素不足、カルシウム過剰	・pH 6.00~7.13 基準値越え ・EC 0.14~0.22 基準値内 ・窒素不足、カルシウム過剰	・pH 6.21~6.98 基準値内だが、やや高い傾向 ・EC 0.08~0.22 基準値内 ・窒素不足、カルシウム過剰	・pH 6.67~6.86 基準値内だが、やや高い傾向 ・EC 0.07~0.08 基準値内 ・窒素とリン酸不足 カルシウム過剰
	土壌硬度	A根元から2mの2地点で測定 表層は根を伸ばしにくい硬さ	B根元から0.4mの地点で測定 比較的根の伸びやすい硬さ部分的に軟らかすぎる状態	Dの根元から1m程度の2地点で測定 土壌表層から深さ90~100cmまで全体的に根を伸ばしにくい硬さ		
	根元周辺掘削	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルートカラーが見えず、深植えの状態</li> <li>・根元周囲に不織布、もしくは通気性改善目的と思われるパーライトが埋設されている</li> <li>・深さ40cm程度から土壌表面に向かって根が上がって伸びている (根は通常、下と横方向に伸びるが下から上に向かって伸びている)</li> <li>・ハリウッド化粧品工場の時代には土壌表面が現在よりも低く、根元を埋めるように盛土をされて現在の植栽が作られたこと、盛土によってそれまで養水分や酸素を吸収していた根の機能が衰え、新たに伸びた根が土壌表面まで上がってきたと推測される</li> </ul>				

## 診断結果に基づいた処置・管理の提案一覧

処置・管理	A：オオカンザクラ	B：オオカンザクラ	C：ソメイヨシノ	D：ソメイヨシノ	E：ソメイヨシノ
1. 早期実施が必要な処置		今年4~5月頃の実施 ○土壌改良、不定根誘導 今年夏までの実施 ○支柱の設置	今年夏までの実施 ○危険な枝、枯枝の除去 ○増生病被害枝の除去		
2. 中長期での樹勢回復計画	<p>各サクラ共通の盛土（深植え状態）への対策として中長期（~10年程度）で毎年1回、4~5月頃に実施推奨</p> <p><b>B：オオカンザクラについては上記のように早期の実施を推奨、その他のサクラについても順を追って実施していくことが望ましい</b></p> <p>○土壌改良：盛土を含め、望ましい土壌へ改善していくための効果の大きいものから①~③の順序で列挙（組み合わせや分割実施も可能）</p> <p>①全面的な表土の除去：40cm表土を除去、既存低木は一時撤去もしくは撤去し表土除去後に植え直す（部分的に進めることも可能）</p> <p>②段階的な表土の除去：数回に分けて15cm程度ずつ表土を除去、低木が枯損した場合には補植を行う</p> <p>③坪穴による土壌改良：50×φ20cm程度の穴を複数開けて、根への通気を確保し部分的に土壌改良</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他：酸性土壌改良資材による土壌のpH調整、土壌硬度改善の膨軟化</li> <li>乾燥防止や土壌改良のため落葉や腐葉土を土壌表面に敷設（マルチング、近隣の落葉等を活用する等）</li> </ul> <p>○不定根誘導：新しい根を伸ばさせて樹勢回復に繋げる方法、上記土壌改良と組み合わせで中長期で実施</p>				
3. 定期的な管理計画	定期的な剪定、薬剤散布などの管理 オオカンザクラ 2本が対象、下記方針での管理 A：樹勢・樹形の維持 B：樹勢・樹形とも回復させていく ○軽剪定、薬剤散布、必要に応じた施肥等		定期的な剪定、薬剤散布などの管理 ソメイヨシノ 3本が対象、3本とも共通で下記方針での管理 樹高が大きく管理が困難であることから、樹勢への影響を考慮しながら段階的に樹高を低くしていくのと同時に、増生病等の被害を軽減させていく ○数年毎の強剪定、薬剤散布、必要に応じた施肥など		
4. 状況に応じた対応、調査等	<p>腐朽の状態や根の伸長状態等、各樹木の状態に応じて必要と考えられる場合には下記項目などを都度提案</p> <p>○腐朽診断：診断結果からDとEには内部腐朽の可能性があると、Aにわずかがだがキノコがあることから、腐朽診断はいずれ行うことを推奨</p> <p>○追跡調査：樹勢回復の状況によって、土壌改良や不定根誘導の効果や状況を確認して方針や計画を再検討する必要がある</p> <p>○その他：樹木の状態も環境も徐々に変化していくものであるため、必要に応じてその他の作業や診断等を提案</p>				